

2023年7月27日-28日の日程で、第56回日本胸部外科学会九州地方会総会が大分市で大分大学医学部心臓血管外科学講座 教授 宮本 伸二先生の会頭により開催されました。我々、JATS-NEXT九州の企画として、『胸部外科3領域の視点から「胸管」を再考する』と題して1時間の枠を頂き、セッションを行いました。3領域に共通かつ時に治療戦略に難渋する術後乳糜胸に焦点をあて、同領域に科学的知識を有しておられる熊本大学病院 消化器癌先端治療開発学寄附講座 特任教授 吉田 直矢先生にご登壇頂き15分程度のミニレクチャーを頂きました。その後、JATS-NEXT世代の3領域の先生方3名にご登壇頂き、各領域の胸管損傷の好発部位と回避の工夫についてご発表頂きました。真夏の太分市の気温に負けない熱い発表が続き、時間をオーバーするほどの盛況の内に無事セッションを終える事が出来ました。JATS-NEXT委員、コアメンバー全員計8名で少しずつ準備を進め、最後に当日の参加者全員で写真撮影を終えた時にはメンバー全員深い充実感を味わう事が出来ました。日常診療を行いながらの主催教室との連絡や交渉、メンバーとのWeb会議など簡単では無い事もありましたが全員の力をもって達成できたものと確信しております。これからも引き続き、3領域の外科医を惹きつけ、JATS-NEXTの理念にある次世代の育成に沿う様な企画を考えていけたらと思います。

最後に、ご協力頂きました太分大学の宮本 伸二教授、窓口となって下さった和田 朋之先生、ミニレクチャーの依頼をご快諾頂きました熊本大学の吉田 直矢先生にこの場を借りて改めて深謝申し上げます。

JATS-NEXT 九州コアメンバー 一同

